

氏名 Name 譚 振華
日付 Date 2026/09/15

国際都市おおた大使活動報告レポート
Cool OTA-KU Ambassador Monthly Report

(前月分のレポートを翌月 15 日までに bunka@city.ota.tokyo.jp に送ってください)
(Please send your monthly report to the above email address by the 15th of each month.)

1 今月は国際都市おおた大使として、どのような活動をしましたか？ What activities have you carried out as an ambassador this month?	
(該当するものにチェックをして詳細を記入してください。いくつでも可) (Please tick the appropriate box(es) and write down details of your activities.)	
☒	来賓として登壇したり、紹介・挨拶があったイベント Events attended as an important guest / events where you were introduced or gave a speech. 8/23 第 12 回福祉のまち粕谷 夏のおまつり
☐	主催者側として参加したもの 例: ファッションショーや交流イベントなど Events which you helped to organize. e.g. fashion shows or exchange events.
☐	講師、会議、研究会などのメンバー、通訳など知識・経験が必要とするもの Activities requiring skill / knowledge. e.g. lectures, conferences, research groups, interpreting
☐	その他 Other

2 今月の大田区 PR 情報発信について
Promotion of Ota City as an ambassador

(Please tick the appropriate box(es) and write down details)

発信媒体 PR medium		発信した内容 PR contents	大田区 PR 情報の掲載回数 Number of posts promoting Ota City information
☒	Facebook 等SNS Facebook or other social media	福祉のまち粕谷 夏のおまつりの 活動様子	1
☐	ブログ Blogs		
☐	その他 Other		

★ 欄が足りない場合は、付け足してください。

Please feel free to add more cells if you have carried out lots of different promotions !

3 参加した大田区のイベントの感想・大田区の魅力など PR についてご記入ください。

写真があれば写真も添付してください。

Please tell us your thoughts on the Ota City event(s) you have attended, or write about your PR of Ota City's attractions. If you have photographs, please attach them to this report.

○イベントの感想など

Your impressions of Ota City's event(s) etc.

8 月 23 日、第 12 回福祉のまち粕谷・夏のおまつりに参加しました。

実は 4 年前の 2022 年にも参加しました。当時はまだ新型コロナウイルスで行動が制限されていたため、地域の方々と十分に交流することができませんでした。今回は久しぶりの参加となり、以前よりも多くの方と交流することができました。

今回は、バングラデシュ出身のアザドさん、ネパール出身のパンタさんと 3 人で午後の部に参加しました。

最初に「バタフライ・ヒル大森南」を訪問しました。老人ホーム前の広場では、フラダンスや盆踊りが行われており、地域の皆さんと一緒に観覧しました。その後、私たちも「国際都市おおた大使」として簡単に挨拶をさせていただきました。さらに、素晴らしい和太鼓の演奏も見ることができました。演奏者の方にお話を伺ったところ、なんと以前、私とパンタさんが体験参加したことのある和太鼓教室の方でした。思わぬところでつながりがあり、とても嬉しく感じました。

次に「サンタフェガーデンヒルズ」を訪問しました。到着した頃にはすでに夕方になっていたため、挨拶をした後、施設を簡単に見学して帰りました。

実は、2022 年にこのお祭りに参加したことをきっかけに、福祉について少し興味を持つようになり、その後、大田区の福祉ボランティアとして活動した経験もあります。
誰でも、事故や病気などがなければ、いずれ年齢を重ね、介護や福祉に関わる可能性があります。今回のイベントを通じて、福祉は誰にとっても身近なテーマだと改めて感じました。
これからも、こうした地域のイベントへの参加を通じて、より多くの方に福祉や地域活動に関心を持ってもらえるようになればと思います。

FaceBook のスクリーンショット：

